

2

平成25年度行政評価および 市民評価を実施

Evaluation

田 原市では、総合計画の進捗管理を行うための「施策評価」と、継続的な改善に結びつけていくための「事務事業評価」という2段階の行政評価を行っています。

また、市民の目線で事業をチェックする市民評価を実施しました。

◆平成25年度行政評価 (平成24年度実施事業)

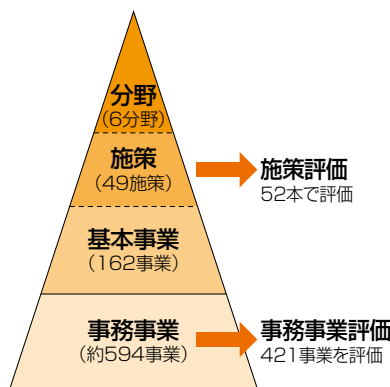
◎行政評価とは

行政評価とは、市民生活の向上と地域の発展に向けた、行政のさまざまな取り組みについて、その目的を明確にしなが、成果を数値化して客観的に評価する仕組みです。

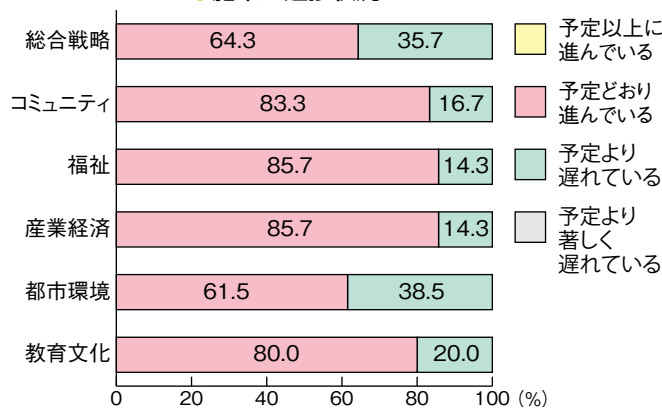
◎施策の進捗状況

施策の進捗状況の割合を、6つの分野別にグラフ化したものです。全体では、「予定どおり進んでいる」が73.1%ですが、「予定より遅れている」は26.9%あり、目標達成に向け積極的に取り組む必要があります。

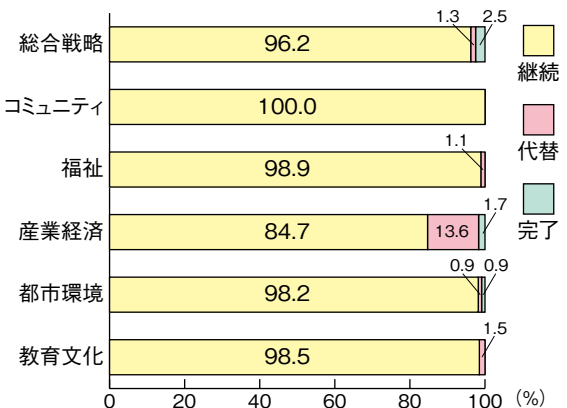
●施策の体系と行政評価



●施策の進捗状況



●事業実施の方向性



◎事業実施の方向性は

事務事業の「妥当性」「有効性」「効率性」の評価に基づき、「今後の課題」「改善の方向性」を検討し、次年度以降の「事業実施の方向性」を総合的に判断します。全体では、「継続」が96.2%、「他事業による代替」が2.9%、「完了」が0.9%となりました。

◆市民評価

8月29日(木)に市民評価を開催しました。市民3名および学識経験者2名の評価委員が、客観的な視点から、事務事業の予算が目的どおりに執行されているか判定しました。職員が行う事務事業評価と比較検証し、意見・提案

●市民評価の結果

事務事業名と評価結果	主な評価コメント
芦ヶ池農業公園PR事業 現行どおり：1名 一部改善：4名	- 他団体、市の他部署とより緊密な連携をとり、農業公園としての使命を発揮できるようなイベントを企画、実施する必要がある。 - 広域的な農産物の市場流通を考え、生産地・田原市を知ってもらう誘客をすべき。 - PR・イベントとも適切な手法を検討するための調査が不十分。
市営住宅管理事業 現行どおり：3名 一部改善：1名 抜本的改善：1名	- 市営住宅のある地域住民とまちづくりについて協議する場を作るなど、セーフティネットとして活かせるように工夫すべき。 - 住環境整備を図る上で、現行でいいのではなく、どこで求められ、どこに必要なのか、総合的なまちづくりの観点も大事。 - 増加が予測される修繕費などは、より有効な建替えを視野に入れて負担額を明らかにし、より現実的な収支を把握すべき。

http://www.city.tahara.aichi.jp/

▼政策推進課 23局3507

を事業の改善に役立てるものです。
※詳しくは、市ホームページをご覧ください。